

第2学年 国語科年間学習計画

目標

- (1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことや話題に沿って話し合う能力を身につけさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身につけさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てます。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てます。

年間指導計画

学期	単元名・題材名	学習内容
前期	はっきりとした声で 読もう ・かくれんぼ ・としょかんへいこ う。 ・「お話しカード」を 書こう かたかなで書くこと ば 書いてあることを正 しく読もう。 ・たんぼぼ ・ことばで絵をつたえ よう ・よく見て書こう。 かん字の書き方に気 をつけよう 場面に気をつけて読 もう ・お手紙 ・まよい犬をさがせ。 組み合わせたことば をつかおう せつめいの文をくら べて読もう	はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。 図書館の利用の仕方を知り、本を読む。 読んだ本について、簡単な感想を書く。 片仮名で書くことばについてまとめ、正しく使う。 順序に気をつけて読み取る。 大事なことを落とさずに順序よく説明する。 観察して、気づいたことをくわしく書く。 漢字の筆順と画数について理解する。 場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話しを読む。 必要なことを落とさないように聞いて、メモを取る。 複合動詞の構成や意味を理解し、ことばへの関心を深める。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるしきは、どんなぬの ・できるようになったよ なかまになることばをあつめよう ・本は友だち しを読もう ・いろいろなおとのあめ ・空にぐうんと手をのばせ ・かんじたことを ・話したいな、とくいなこと ・「ありがとう」をつたえよう ・言いつたえられているお話しをしろ 	<p>二つの説明の文を比べて、違いを考える。</p> <p>順序に気をつけて文章を書く。</p> <p>仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。</p> <p>読書の楽しさを理解し、自分の興味を合わせて本を選んで読む。</p> <p>声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。</p> <p>感じたことや思ったことを詩にかく</p> <p>聞く人に伝わるように順序よく話す。友だちの話を興味を持って聞く。</p> <p>伝えたいことを簡単な手紙に書く。</p> <p>神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友だちに発表し合う。</p>
後期	<ul style="list-style-type: none"> 人物のようすや気持ちに気をつけて読もう ・名前を見てちょうだい ・絵を見てお話を作ろう 声に出してみよう どうぶつのひみつをみんなでさぐる ・ビーバーの大工事 ・聞き合おう、みんなのたからもの じゅんじょをかんがえて説明しよう。 ・二年一組、はつ明じむしよ 主語とじゅつ語にきをつけよう 	<p>場面に気をつけて、人物の様子や気持ちを読み取る。</p> <p>絵から想像を広げて、お話を書く。</p> <p>音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解する。</p> <p>だいじな言葉を探しながら、順序に気をつけて読み取る。</p> <p>一つの話について、知りたいことを尋ねて話し合う。</p> <p>書くことを整理し、順序を考えて書く。</p> <p>主語と述語の働きを理解し、主述のそろった正しい文を書けるようにする。</p>

<p>むかし話を楽しんで 読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かさこじぞう ・おばあちゃんに聞いたよ ・考えたわけを書こう 分かりやすくせつ明 しよう ・おもちゃまつりへようこそ おくりがなに気をつけよう 虫について知ったことをもとに考えよう ・虫は道具をもっている ・「思い出ブック」を作ろう はんたいのいみのことば お話しを紙しばいにしよう ・ニャーゴ 	<p>おもしろさを見つけながら、いろいろな昔話を読む。 昔から伝わるいろいろな言い方について知り、声に出して読む。 考えたこととその理由を文章に書く。</p> <p>聞く人にわかるように、順序よく説明する。</p> <p>送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら正しく漢字の読み書きをする。</p> <p>似ているところと違うところに気をつけて読む。</p> <p>これまでに書いた文章や詩を読み返し、1年間の思い出を文章や詩に書く。 ・反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。</p> <p>場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をする。</p>
---	---

評価について

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、進んで話したり書いたり、楽しんで読書したりしようとする。（国語への関心・意欲・態度）

相手に応じ、身近なことなどについて、事項の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりしている。（話す・聞く能力）

経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書いている。（書く能力）

書かれている事項の順序や場面の様子などに気づいたり、想像を広げたりして本や文章を読んでいる。（読む能力）

伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書いている。（言語についての知識・理解・技能）

テスト（単元テスト、漢字テスト、音読テスト）、授業中の発言、ノート、作文などで評価し、学習指導に生かしていきます。